



編集後記

第18回共生のひろばは、コロナ禍における対策として、対面と特設webサイトの両方に対応したハイブリッド形式で開催されました。今回は対面56件、オンライン10件の計66件の発表が行われ、地域の自然や環境に取り組む様々な分野からのアプローチが紹介され、活発な議論や質問が交わされました。

3年ぶりとなる人と自然の博物館の対面会場では、発表ブース間の距離の確保・消毒用アルコールの設置・換気などの感染対策を徹底し、大きな混乱もなく盛況のうちに終えることができました。また、対面会場ではライトニングトークを試行的に実施し、参加者の交流を促進する有効な手段となることがわかりました。

今回の共生のひろばでは、オンライン開催に関するノウハウが着実に蓄積されていることも実感しました。対面会場での発表者にも特設webサイト用の発表資料を用意していただくことで、オンラインでの参加者にも66件全ての発表を楽しんでいただくことができました。さらに、開会式・研究員トーク・講評はYouTubeでのライブ配信を行い、オンラインでの交流を充実させる取り組みが行われました。

今後も共生のひろばは、より良い形で開催されるよう、地域の方々や関心のある方々のニーズに応え、着実に発展していくことを目指していきます。

(共生のひろばプロジェクト代表 頼末武史)

